

CNSニュースレター

～千葉の地から、千葉のチカラ～

2015 春
vol.7



千葉ならではの魅力を伝える研修会 ～企画検討中～

も く じ

□一灯照隅	…2	□ろくすけ日和	…10
□指定管理の現場から	…3	「3年目が無事終了、そして4年目へ」	
□12～2月の現場レポート	…4	□シニア自然大学	…10
・主催事業		「ろくすけの花ごよみ」	
・ネットワーク・受託事業		□みんなのおおきな食卓	…11
・指定管理施設の主催事業		□会員校・指定管理施設紹介	…12
□こんなことにチャレンジしています！	…7	□スタッフのつぶやき	…12
□4月～7月 CNS ネットワークイベント情報	…8		

一灯照隅

理事長 飯田 洋

このニュースレターが、皆様のお手元に届くころには桜の花が満開に咲き誇り新しい年度がスタートしている頃と思います。

どんな厳しい冬でも、いずれは季節がめぐって春を迎え、人々の営みも季節に合わせて歩み始めます。

千葉自然学校も昨年来、一般 NPO 法人から認定 NPO 法人へと衣替えするための作業をしてきました。いまの時点では、県庁の担当部局で審査事務が行われていますが、無事に審査に通りますと仮認定の NPO 法人として認証され、その後実績を積んで認定 NPO 法人へと進んでいきます。

私たち千葉自然学校は、平成15年に NPO 法人として発足してから今年は12年目になります。

子どもからシニア世代までの方々に自然体験を柱としたいろいろなプログラムを提供すると共に人口減少や高齢化などを抱える地域課題に向き合い、地域の方々と連携して解決の糸口となる活動に取り組んできました。

今後、無事に認証を頂いた暁には、これまでに増して質の高い活動を展開することは勿論のこと、日々変革に努め、誰もが健康で、幸せを感じられる暮らしづくりに貢献できるよう頑張っていきたいと考えています。

多くの皆様からの浄財を仰ぎつつ公益に資す活動に取り組んでいきますのでご支援、ご協力をお願いいたします。



咲き誇る桜の下で「さくらフェスタ」(大房岬自然公園)



ドラム缶の窯で手作りピザ! (子どもキャンプ)



千葉シニア自然大学(第3期生)

「一灯照隅」この後に「万灯照国」と続きます。これは、1つの灯りは隅しか照らせないが、万の灯りは国全体を照らすことができる。転じて、一人一人が自分の役割を懸命に果たすことが、組織全体にとって最も貴重であるという意味の最澄の言葉です。

指定管理の現場から⑦

千葉自然学校は、現在県内にある3ヶ所の施設を指定管理者として千葉県、南房総市からそれぞれ委託を受け、管理・運営を行っています。
このコーナーでは、それぞれの施設での取り組みや想いを皆様にお届けしていきます。

南房総市大房岬少年自然の家 所長 神保清司

春を迎えた南房総。山も海も、そこに生きる木々も草花も鳥も動物も、もちろん我々人間も、新たな生命が誕生する春を心底歓迎しています。

さて、私たちは指定管理者として運営する施設の仕事以外にも、地域のエコツーリズム、ヘルスツーリズム推進の仕事を色々な方たちと協働で行っています。たとえば今回の仕事を平たく言えば、

- 今まで磨き上げてきた観光資源をさらに磨き上げる。
- 磨くことを途中で止めてしまっている資源を磨き直す。
- 資源としてとらえられていなかったモノを再評価して光を当てるそんな仕事です。但し、そんな時こそ大切にしたいことがあります。

観光による地域振興というと、効果を測る指標は、お金と数字が主です。どちらも大切ですが、人の思いとか、守りたい誇りとかを置き去りにしては「住んでよし。訪れてよし」ではなくなります。

両方しっかり見て話をしながら、地域で生きていきたいと思います。



千葉県立君津亀山少年自然の家 所長 庄司達哉

「施設管理の悩み」

当施設は年間約 50,000 人(延べ人数)の利用があります。特に利用が多い季節は「夏」です。夏休み期間には子ども会やボーイスカウト・ガールスカウト、またスポーツ団体などたくさん子ども達が毎日訪れてくれます。その反面、利用が少ないのは1~2月の寒い時期です。

利用の少ない閑散期にいかんにか人を集めるか？これが当施設の指定管理を受けてからの悩みです。そんな中、先日近隣住民の方と話をしていたら、「カラオケがあったら年寄り連れて遊びに行くよ！」と



言われました。当施設は教育施設です。研修が目的の団体受入を行っています。

が、せっかく施設があるのに、利用がない日があるのももったいない話です。教育施設でのカラオケの是非もあるとは思いますが、それが地域の人が集まるきっかけになり、そこから地域を巻き込んだ施設づくりが出来るのであれば、カラオケもいいのかな…と感じております。ただ、こちらにはカラオケの機材がありません。もし不要な機材がありましたら、是非お声かけください。

千葉県立大房岬自然公園 公園長 畑野佳昭

「桜切るバカ梅切らぬバカ」とも言われますが、実は適切な時期を選んで、枝を切る場所、切った後の処理など手入れを適切に行う事で桜はより元気に育ちます。

この3年、大房岬自然公園を城山公園(館山市)や佐久間ダム(鋸南町)に並ぶ桜の名所にするために、延べ100名を超える方々とともに様々な取り組みを行いました。

まずは植樹イベント。24年度には運動園地と展望塔周辺に計10本。25年度には第2展望台とビジター前広場に計15本をボランティアの方と一緒に植えました。25年度、26年度にはてんぐす病という病気の対策と剪定の仕方、土の管理や土に空気を取り込む方法などを学ぶ講習会を実施し、実際に運動園地や西芝生園地の桜の剪定や竹の空気を埋める作業を行いました。

職員も学んだことを活かし、継続的に桜を手入れ中。多くの人の想いを受けて今年の桜はどのくらい鮮やかに咲き誇るでしょうか。ぜひ花見にお越しください！大房岬は桜の名所です！



12①②月の現場レポート

《主催事業》



週末&冬休み・子ども

森のクリスマスキャンプ

～夜は、サンタクロースに変身！？～

①12/20(土)～21(日) ②12/25(木)～26(金) 1泊2日 施設泊
千葉県立君津亀山少年自然の家 小学1～6年生/幼児(年中～年長)

◆クリスマスクッキング(鶏の丸焼き) パーティー/サンタタイム/クリスマスキャンドル作り



1日目は、アウトドアクッキングに挑戦! ダッチオーブンでダイナミックに鶏の丸焼きを作りました。蓋を開けた瞬間の喜びと驚きの顔はとても素敵でした。夜はお楽しみの「サンタタイム」。なんと自らサンタクロースになって、お友達にプレゼントを渡す。しかもこっそり、見つからないように…。とってもドキドキわくわくする一夜となりました。2日目は、オリジナルキャンドルを作って、お土産づくり。クリスマスづくりの2日間となりました。

冬休み・子ども

スノーあそベンチャーキャンプ

～豪雪地帯で思いっきり雪遊び～

12/25(木)～28(日) 3泊4日 施設泊 新潟県 国立妙高青少年自然の家 小学1～6年生

◆ソリやチューブ滑り/雪像(かまくら)作り/スノーシューハイキング/雪合戦



とことん雪の中で遊んでほしい。そんな想いで企画した今回のキャンプ。

チューブ滑りで風切る楽しさ。かまくらづくりで、巨大な作品作りのワクワクさ。そしてスノーシューのハイキングでは、雪のやわらかさや冷たさを存分に体験しました。子どもたちにとって、何もかも新鮮な出来事だったようです。雪があれば1日中遊んでいただけますね。

仲間と共に遊びの中から、多くの学びがありました。

週末・子ども

バームクーヘンとターザン遊び

～森の中で思いっきり外遊び～

17(土)～18(日) 1泊2日 施設泊 千葉県立君津亀山少年自然の家 小学1～6年生/幼児(年中～年長)

◆バームクーヘン作り/森のクラフト作り/森のターザン遊び(ブランコやハンモック)



1日目は、バームクーヘン作りに挑戦しました。自分ひとりでは作れません。班の中で、役割を決めながら、薪を集めて火の当番、バームクーヘンの焼き係、竹の軸を支える役割…。お友達と協力しながら作ることができました。

2日目のターザン遊びでは、森の中からアスレチックを探して遊びました。活動の中で、子どもたちが率先して遊びを考え・作り出す姿が印象的でした。子どもたちは自然を相手に上手に楽しく過ごしていました。

週末・子ども

羊キャンプ

～羊とふれあい、動物について学ぶ2日間～



2/7(土)～8(日) 1泊2日 施設泊 千葉県立君津亀山少年自然の家

小学1～6年生・年中～年長

◆牧場で羊のお世話/毛刈り見学/動物のことを知る動物スライドショー/羊毛クラフト※協力:ライブストック(千葉自然学校会員校)

1日目は、羊と触れ合い、羊毛刈りに挑戦。とても熱心にその作業を観察し、羊についてたくさん質問が出ました。

夜の動物スライドショーでは、野生の動物の話をしました。より一層、森の生き物に興味をもったようです。

2日目は、羊毛クラフト。自分たちの刈り取った毛が最終的にどうなったかを体験しました。

自分で見て触れることで動物への興味関心を深め、自分で学ぶことの面白さを知ることができた活動となりました。



大人(シニア)

房総を歩こう 紅葉の梅が瀬溪谷・大福山

12/6(土)日帰り 千葉県市原市 大福山周辺



養老溪谷駅から大福山292mを目指します。梅が瀬溪谷から大福山へ約5km。大福山から林道を坂畑方面へ。計9kmのコースです。



秋晴れの空の下、梅が瀬溪谷を歩いてきました。紅葉の最盛期は外れてしまいましたが、清流沿いの歩道を気持ちよく歩いてきました。その後、大福山・白鳥神社に参拝し、亀山湖へ古道歩きを楽しみました。

大人(シニア)

房総を歩こう 三石山・元清澄山で安全登山祈願

1/10(土)日帰り 千葉県君津市

三石山観音寺で参拝後登山道へ。清澄寺へのコースを分け、山頂へ。



三石山から元清澄山へ歩いて来ました。モミ・ツガの原始林をぐるっと巡りました。

下山後は、自然学校が用意したおしる粉と参加者の方からのお漬物をいただきました。とても美味しかったです。

大人(シニア)

ビスターリ(房総を歩こう県外編) 大展望のスーパー低山 鐘撞堂山

2/21(土)日帰り 埼玉県大里郡寄居町周辺

鐘撞堂山「ふるさとの森」は、春に山桜をはじめ、四季折々の草花が楽しめます。また、鐘撞堂山(標高330m)からは、素晴らしい眺望が楽しめます。

「ビスターリ」とは、ネパール語で「ゆっくり」という意味です。



お天気にも恵まれ、冬枯れの雑木の尾根は、のんびり歩きには最高でした。山頂に到着し、みなさんで記念撮影をパチリ。国道に出るぎりぎりまでに山に包まれているようなコースでした。

《ネットワーク・受託事業》



城西国際大学安房キャンパス後期集中講座 「エコスポーツ論、エコツーリズム論」

月下旬に城西国際大学安房キャンパスにて、後期集中講座のエコスポーツリーダー論、エコツーリズム論を受け持ちました。自然体験を通して地域活性化を目指す千葉自然学校の10年にわたる実績やネットワーク、指導者育成のノウハウをもって、これから日本の将来を担い社会に羽ばたく大学生に対して、様々な事を伝えることができたかと思えます。

実際に地域で活動している団体の現場を視察する授業では、第二回エコツーリズム大賞特別賞を受賞した NPO 法人たてやま・海辺の鑑定団にお世話になり、沖ノ島無人島探検ツアーを通して、地域で展開するエコツアーやその効果を体感することができました。

今後も大学という教育機関と連携し、地域で活動する人と若者をつなげて、自然体験の分野で活躍する人材を育成する一端を担えればと思います。
(文：上地智子／かみい)



林野庁／森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業 「谷当いきいき森づくりの会」



林野庁からの交付金を受け、千葉自然学校とユース・サポート・センター友壘塾、バランス21との連携で「谷当いきいき森づくりの会」を立ち上げました。未整備の森を整備し、子ども達に自然体験活動の場と、森の保全活動の必要性や魅力を伝えています。

森の整備は杉林の下草刈りと朽木の処理、低花木の伐採が主な作業です。子ども達に遊び場を作るのに、まず人の背丈まで伸びた篠竹や笹の刈払い作業を行います。密生した竹はなかなか手強い作業でした。所々に出てくるクワの木に苦戦し、一度切り開いた林も時間がたつと光が入り、ヌルデの林になっていたりしました。なんとか冬前までに作業を終わらせ、見違える林になった時は感無量でした。

子ども達がのびのび遊び、拾った枝で焚き火を起し、おやつ作りを楽しむ環境が生まれました。リピーターの子も増えていった場となりました。

次年度も継続の事業です。竹林の整備も待っています。みんなで一致団結し、安全第一で活動しています。
(文：佐藤昭仁／アリ)



千葉県／都市農山漁村交流活性化事業 「‘千葉’ならではの魅力を伝える講演会」

1月14日、グリーン・ブルーツーリズムを推進する千葉県の事業「都市農山漁村交流活性化事業」で、千葉県立君津亀山少年自然の家を会場に講演会を開催しました。

講師は‘感動請負人’の肩書をもつ(株)マインドシェアの木谷敏雄氏。外からのお客様に「そこ(千葉・地域)」に来てもらうためには、「そこ」に行きたくなる理由＝「そこ」でなくちゃだめ、「そこ」に行けば見える、会える、食べられる、体験できるものを掘り起し、外に発信する必要があることを全国各地で行われている地域起こしの成功・失敗事例からお話いただきました。

自分たちの‘地域’ならではの魅力はなんだろうか、自分たちにできることはなんだろうか…講演を聞きながら、参加者の皆さんもそれぞれに思考を巡らせるとも濃厚で貴重な時間となりました。

今回ご参加いただいた皆さんと今後も情報交換の場を設け、連携しながら、時には刺激を受けながら、私たちも取り組んでいければと考えています。
(佐藤玲子／かつ)



■こんな取り組みもしています■

会員校×千葉シニア自然大学『お見合い大作戦!』

3月で1年間の講義が修了する千葉シニア自然大学受講生の皆さんと、千葉自然学校の会員校の皆さんのボランティア活動マッチングイベント。毎年恒例となっています!

体験農園 in 岩名、2年目がスタート。

昨年、佐倉市で開園した「体験農園 in 岩名」の2年目がスタートしました。1年目の経験を経て、農園もパワーアップ。継続で利用される方も多く、皆さんと一緒にさらに魅力的な場所を作っていきたいと思っています!(お申込みまだ間に合います)

《指定管理施設の主催事業》

南房総市大房岬少年自然の家

「ソトごはんクラブ」

天気がよかったこともあり、絶好のソトごはん日和となり、今回はダッチオーブンを使ってドリアとミネストローネを作りました。普段なかなか火を起こすという体験ができないこともあり、大人も子どもも夢中になって参加していました。野外での調理は家のコンロとは違い、火加減が難しく、焦がさないように注意して、試行錯誤しながらの体験となり、家での調理の簡単さを改めて知る機会になったのではないのでしょうか。料理が完成し、ダッチオーブンを開けて中を確認した時は、大歓声。チーズがととろに溶け、こんがりとした焦げ目がつき、味も最高でした！こうしてみんなで協力して作って一緒に食べるからこそ、美味しさが何倍にもなり、



と思います。子どもたちの自然体験をする機会が減ってきている今だからこそ、是非親子で休日に自然体験をする機会として活用していただけたらと思います。南房総の豊かな自然の中で、一緒に活動してみたいはいかがでしょうか。

(文：白井和樹/あつし)

千葉県立大房岬自然公園

「桜守、桜の追肥と竹を使った空気管作り」

桜の名所・大房岬自然公園の桜を人の手を入れて守る“桜守”の活動を今年度は年4回行ってきました。

最終回は運動園地に入った所に並ぶ2本の桜と、中心にある“マザーツリー”の周囲に空気管と肥料を埋め込み、他の海側の桜には施肥を行いました。空気管は30cmほどの竹に穴を開けて中に燻炭と炭を入れたもので、固くなった土壌に空気を入れて木が根を張りやすいようにする効果があります。桜一本につき周囲に12カ所の穴を掘って空気管を埋め、また



油粕を混ぜて埋め戻して窒素等の栄養も土壌に加えしました。

参加者は園内で活動している「森のようちえん」のお母さん達と就園前の子ども達、“桜守”の称号に相応しいやり手の60~70代の世代など合わせて24名。

桜などの樹木を守る活動は成果までのスパンが長いので、次の世代や未来を想うことと繋がります。桜と共に時の移り変わりを大切な人と愛でられる、ここがそんな場所であり続けてほしい…青空の下で皆さんと作業しながらそんなことを思いました。(文：白井英季子/ふっきー)

千葉県立君津亀山少年自然の家

「森っこレンジャー」

小学生を対象に、年間を通して活動している「森っこレンジャー」。4回目のテーマは、「森の役割」です。

午前中は、紙芝居で木の機能や森の役割について考え、木のクラフトを行いました。

午後からは、林業も営まれ、ログハウスも建ててしまう森の職人「森林塾かずさの森」岩田さんを講師にお招きし、実際に間伐してもらったところを見せてもらいました。木が倒れた時の「ドーン！」という迫力のある音は、普段感じる事のない木の重さや、大きさを肌で感じる事ができました。

そして最後に、岩田さんから森についてお話をしてもらいました。

「森の生き物たちや植物たちは、一つ一つ大切な役割を持っています。どれか一つでもかけてしまうと、他の生き物たちも大きな影響を受けます。だからみんな、嫌いな生き物も好きな生き物も大切にしようね。」

人と自然のつながりについて感じてもらうことができたのではないのでしょうか。

(文：白井健/ねぎ)



こんなことにチャレンジしています！

「森林セラピー等自然資源を活用した高付加価値型旅行商品の開発・運営支援事業」

千葉県の最南端に位置する南房総市は平成26年3月、全国で57番目、県内では初の森林セラピー基地に認定されました。‘森林セラピー’とは「森の中にいると癒される」「リフレッシュできる」といった「森林浴」の効果が科学的な根拠によって裏付けられたものです。

森林セラピー基地に認定されたことを機に、千葉自然学校が南房総市からの業務委託を受け、6回にわたる森林セラピー体験会や地元住民の方を対象にしたガイド養成講座、南房総セラピーモニターツアーなど、様々な活動を行ってきました。

2月には熊野古道を拠点に健康ウォーキングを推進している「熊野で健康ラボ」の木下藤寿氏、全国各地で地域づくりの事業に取り組んでいる(株)マインドシェアの木谷敏雄氏をお招きし、森林セラピーを含めた南房総市の観光・健康プログラムの在り方についてアドバイスを頂きました。また、長野県飯山市にある「なべくら高原・森の家」支配人の高野賢一氏には地元の宿泊関連業者の方やガイドの方を対象に「エコツーリズムのおもてなし」という講演をして頂きました。

このように事業を進めていく中で、より地域を盛り上げるためには、一プログラムとしての森林セラピーにとどまるのではなく、南房総全体のエコツーリズム、ヘルスツーリズムの在り方まで考えていくことが重要であると実感しています。

(文：花嶋桃子/ぼによ)





4月のイベント

お餅つき&椎茸の菌打ち 主催：上総自然学校 稲の苗作りと田の畦塗り 開催日：4月11日(土)・12日(日) ※各日帰り 10:00~15:30 雨天中止/×切 4/5(日) 対象：どなたでも *小学生は親同伴必須/定員：30人(先着順) 料金：大人2,000円、小学生1,000円、乳幼児無料(保険代含む) ◆問合せ・申込み：0438-75-7414、itoda@shinko-ji.jp
房総を歩こう〜秘境山野草・てんぷらハイキング〜 主催：千葉自然学校 亀山湖から林道を怒田まで歩きます。手掘りのトンネルをいくつも抜け、こごみ、もみじがさなど山菜を摘みながら、山間の谷をのんびり歩きましょう。 開催日：4月18日(土)8:30~16:00 *悪天候順延日…19日(日) 会場：君津市怒田周辺/8:30JR君津駅集合・16:00JR君津駅解散 料金：5,900円/定員：20名(最少催行人員15名) ◆問合せ・申込み：043-202-7173、camp@chiba-ns.net
ヨモギ餅作り 主催：上総自然学校 里山でヨモギを摘んで餅米をついてヨモギ餅を作ります 開催日：4月18日(土)14:00~16:30 雨天開催/×切4/12(日) 対象：どなたでも *小学生は親同伴必須/定員：20人(先着順) 料金：800円(保険代含む) ◆問合せ・申込み：0438-75-7414、itoda@shinko-ji.jp
春の山の恵み体験 主催：森林塾かすさの森 春の陽光の中、かすさの森は山菜が沢山。ワラビ、ゼンマイ、コゴミなどを摘み、普段知らない山菜料理もご堪能ください。山菜の美味しい食べ方教えます！ログハウスでエコな宿泊。昭和30年代の生活体験。悪天候の場合は体験変更あり。1泊3食。 開催日：4月18日(土)~19日(日) 締切：開催日7日前/定員：25人 参加費：大人9,000円、子ども7,000円/会場：森林塾かすさの森 ◆問合せ：0439-39-3556(夜間35-2114) ◆申し込み：FAX0439-35-2114、info-kfs@kazusanomori.com
おやこキャンプ 春野草探し&タケノコ掘り 主催：千葉自然学校 春の旬な味覚を自分の手で採り、味わってみます。野草の見つけ方、おいしい食べ方を野草博士から教えてもらおう。 開催日：4月25日(土)10:00~16:00 雨天実施 場所：月出野外活動センター(市原市)/定員：40人 料金：親子(親一人、子一人)6,500円 ひとり追加ごとに大人1,000円、子ども500円 ◆問合せ・申込み：043-202-7173、camp@chiba-ns.net
オトナの野活 春の山野草クッキング 主催：ELFIN 体験共育くらぶ 野に出て山菜、野草を採りながら、里山の自然とふれあえます。お昼は、採った山野草を素材に料理を作り、春の味覚を楽しみます。 開催日：4月26日(日)/対象：18歳以上/定員：10名 料金：会員4,000円、ビジター4,800円(昼食代を含む) ◆問合せ・申込み：TEL0470-55-8322、toi-awase@elfin-ee.com
巨木巡りトレッキング 主催：上総自然学校 スタジイなどの巨木と春の葉草を観察します。 開催日：4月26日(日)13:00~16:00 ×切4/19(日) 雨天の場合：室内でネイチャーゲーム/定員：20人(先着順) 対象：どなたでも *小学生は親同伴必須/料金：500円(保険代含む) ◆問合せ・申込み：0438-75-7414、itoda@shinko-ji.jp
ソトごはん倶楽部〜アウトドア料理をはじめよう〜 主催：大房岬少年自然の家 お日様の下、みんなで作って食べる「ソトごはん」の味は格別！1回からの参加も、大人だけの参加も大歓迎。大房岬で「ソトごはん」を楽しみませんか？<メニュー：①春じゃがトロトログラタンとまるごとポテト、②初夏の大房特製パエリアとオニオンスープ、③味噌煮込み刀削うどんと焼き火スイーツ、④ほかほかパンと秋の実シチュー、⑤春を先取り菜の花ピザと大房特製ピザ> 開催日：①4/26(日)、②5/31(日)、③10/24(土)、④11/14(土)、⑤2/28(日) 各回10:00~13:30 ★全5回申し込みで1回分無料！ 参加費：中学生以上1,800円、小学生以下1,300円、3歳未満は無料 *小学生以下は、保護者も一緒に参加ください ◆問合せ・申込み：0470-33-4561、event@chiba-ns.net
つりたべ 春告魚と磯であそぶ 主催：ELFIN 体験共育くらぶ 釣って食べる野遊びプログラム。足場の良い磯で春を告げる魚、ウミタナゴやメバルを狙います。雨天中止。 開催日：4月29日(水・祝)/対象：18歳以上/定員：8名 料金：会員6,500円、ビジター7,300円(昼食代を含む) ◆問合せ・申込み：TEL0470-55-8322、toi-awase@elfin-ee.com
専門ガイドと山菜摘み&その場で天ぷら 主催：「わたしの田舎」谷当工房 谷当キャンプ場を起点に自然いっぱいの谷当のあぜ道を専門ガイドと2時間散策しながら山菜の若芽を摘んで天ぷらにさせていただきます。 開催日：4月29日(水・祝)、5月9日(土)9:30~14:00 定員：各回先着20名 料金：大人4,000円、小学生2,000円、未就学児1,000円(すべて昼食付) ◆問合せ・申込み：TEL043-239-0645(受付10:00~17:00)



5月のイベント

房総を歩こう〜秩父琴平丘陵ハイキング〜 主催：千葉自然学校 開催日：5月2日(土) *悪天候順延日…3日(日) 集合・解散：西武池袋線 西武秩父駅 料金：6,500円/定員：20名(最少催行人員15名) ◆問合せ・申込み：043-202-7173、camp@chiba-ns.net
サツマイモ植え&レンゲトレッキング 主催：上総自然学校 サツマイモの定植体験とレンゲが咲く里山の散策をします。 開催日：5月2日(土)13:00~16:00 雨天中止 ×切4/26(日) 対象：どなたでも (小学生以下は親同伴必須)/定員：20人(先着順) 料金：大人1,000円、小学生500円、乳幼児無(保険代含む) ◆問合せ・申込み：0438-75-7414、itoda@shinko-ji.jp
夜の生き物ツアー 主催：大房岬自然公園 ①コウモリ&昆虫編：真っ暗の夜の森に出かけて、洞くつにひそむコウモリや隠れている昆虫を探そう！ ②アナグマ&昆虫編：大房岬のアナグマと夜の虫を探そう！ 開催日：①5月2日(土)、②5月4日(月) どちらも19:00~20:30 対象：どなたでも *小学生以下は保護者同伴/定員：先着30名 料金：中学生以上1,000円、小学生以下800円、3歳未満無料 ◆問合せ・申込み：0470-33-4551、park_taibus@chiba-ns.net
田植え体験 主催：森林塾かすさの森 水温む暖かい日差しの中、田植えを体験しませんか？育の原点は米作りから。さなぶり食体験、水性動物観察、山菜・キノコ採り。ログハウスでエコな宿泊。昭和30年代の生活体験。悪天候の場合は体験変更あり。1泊3食。 開催日：5月2日(土)~3日(日) 締切：開催日7日前/定員：25人 参加費：大人9,000円、子ども7,000円/会場：森林塾かすさの森 ◆問合せ：0439-39-3556(夜間35-2114) ◆申し込み：FAX0439-35-2114、info-kfs@kazusanomori.com
春の生きもの探検隊 主催：ELFIN 体験共育くらぶ 田んぼで磯で水辺に棲む生き物を探します。夜は懐中電灯を片手に田んぼの生き物観察にも出かけます。 開催日：5月2日(土)~3日(日) ×切4/20(日) 対象：小学2年生~6年生/定員：8名 料金：会員16,000円、ビジター18,000円(プログラム費用、食費含む、交通費別途) ◆問合せ・申込み：TEL0470-55-8322、toi-awase@elfin-ee.com
森のターザンキャンプ 主催：千葉自然学校 ナイフ、火、ロープを使いこなす、森のターザンになろう。 秘密基地作り、おはしづくり、弓矢づくり、たき火。 開催日：5月4日(月)~6日(水)/対象：幼児(年中~年長)、小学生 定員：40名/料金：CNSクラブ会員23,000円、一般26,000円 会場：君津亀山少年自然の家/集合解散場所：船橋駅、千葉駅、君津駅、現地 ◆問合せ・申込み：043-202-7173、camp@chiba-ns.net
どろんこ田植え体験 主催：「わたしの田舎」谷当工房 自然いっぱいの田んぼで田植え体験。ザリガニや多数の生物も採取できるから、どろんこ大好きの子どもも喜びそう！お弁当持参ください。 開催日：5月6日(水・祝)、5月12日(火)、5月19日(火) 9:30~14:00 定員：各回先着20名/料金：大人1,000円、小学生500円、未就学児無料 ◆問合せ・申込み：TEL043-239-0645(受付10:00~17:00)
お山を歩こう Kids編 ~チャレンジ伊予ヶ岳~ 主催：千葉自然学校 房総の山、伊予ヶ岳にチャレンジしよう。 開催日：5月16日(土) /対象：小学生、中学生 定員：20名/料金：5,000円(CNSクラブ会員)、8,000円(一般) 集合解散場所：船橋駅、千葉駅、岩井駅 ◆問合せ・申込み：043-202-7173、camp@chiba-ns.net
谷津田の田植え 主催：上総自然学校 里山に囲まれた段々田んぼでのんびり田植え体験。雨天中止 開催日：5月16日(土)・17日(日) ※日帰り/10:00~16:00 対象：どなたでも (小学生以下は親同伴必須)/×切5/10(日) 定員：各日30人(先着順) 料金：大人2,000円、小学生1,000円、未就学児無料(保険代含む) ◆問合せ・申込み：0438-75-7414、itoda@shinko-ji.jp
ミツバチ体験 主催：森林塾かすさの森 森に花が咲き乱れる季節はおいしい蜂蜜の季節。ミツバチの生体について専門家から優しく学びながら自然で健康にいい蜂蜜を採ります。 開催日：5月16日(土)~17日(日) 締切：開催日7日前/定員：25人 参加費：大人10,000円、子ども8,000円/会場：森林塾かすさの森 ◆問合せ：0439-39-3556(夜間35-2114) ◆申し込み：FAX0439-35-2114、info-kfs@kazusanomori.com
潮干狩り&あおぞらんち 主催：ELFIN 体験共育くらぶ 東京湾の天然干潟で潮干狩り。潮干狩り後はBBQやたき火料理でアウトドアランチを楽しみます。 開催日：5月19日(火)/×切5/12(火)/対象：どなたでも/定員：15名 料金：4,000円(グループ割引3名以上3,500円)、幼児無料 ◆問合せ・申込み：TEL0470-55-8322、toi-awase@elfin-ee.com

古代米田植え&補植 主催：上総自然学校
 里山の段々田んぼで古代米の田植えと稲の捕食をします。マイバースで田植えができるので、小さいお子様がいる親子連れにおすすめです。雨天中止。
 開催日：5月23日(土)・24日(日) ※各日日帰り 15:30~18:30
 〆切5/17(日) / 対象：どなたでも (小学生以下は親同伴必須) / 先着30人
 料金：大人1,000円、小学生500円、未就学児無料 (保険代含む)
 ◆問合せ・申込み：0438-75-7414、itoda@shinko-ji.jp

岬でフィッシング! 主催：千葉自然学校
 とことん海釣り! 釣ってさばいて食べよう!
 開催日：5月23日(土)~24日(日) / 対象：小学生 / 定員：20名
 料金：14,000円 / 集合解散場所：千葉駅、現地(大房岬)
 会場：大房岬少年自然の家、富浦漁港、大房岬自然公園
 ◆問合せ・申込み：南房総市大房岬少年自然の家
 0470-33-4561、event@chiba-ns.net

水路の生物観察 主催：上総自然学校
 段々田んぼの水路で生物探し。ヤゴや水生昆虫を見つけよう!
 開催日：5月30日(土)13:00~16:00 雨天中止 / 〆切5/24(日)
 対象：どなたでも (小学生以下は親同伴必須) / 定員：20人 (先着順)
 料金：500円 未就学児は無料 (保険代含む)
 ◆問合せ・申込み：0438-75-7414、itoda@shinko-ji.jp

大房岬の生き物しらべ 岬レンジャー 主催：大房岬自然公園
 生き物好きあつまれ! みんなで大房岬に棲む生き物の調査をしよう。
 第1回目(5/31)は、「海川カニカニレンジャー」!
 開催日：5/31(日)、7/29(水)、10/18(日)、1/31(日) 10:00~15:00
 対象：小学3~6年生 / 定員：各回先着10名 / 料金：各回1,000円
 ◆問合せ・申込み：0470-33-4551、park_taibusa@chiba-ns.net

6月のイベント

つりのらキャンプ 主催：ELFIN 体験共育くらぶ
 「つくる、とる、たべる」体験プログラムです。1日目はナイフを使い、竹の箸作り。畑では、さつまいもと落花生の苗を植えます。
 2日目は海で魚釣りや磯で食材探し。
 開催日：6月6日(土)~7日(日) / 〆切5/25(月) / 定員：8名
 対象：小学2年生~6年生 / 料金：会員18,000円、ピシター16,000円
 (プログラム費用、食費を含む。交通費別途)
 ◆問合せ・申込み：TEL0470-55-8322、toi-awase@elfin-ee.com

草刈りとホタル観賞 主催：上総自然学校
 里山に囲まれた田んぼで草取り。夜はホタルを見に行きます。雨天中止。
 開催日：①6月14日(土)、②6月27日(土) どちらも11:00~20:00
 〆切①6/7(日)、6/21(日)
 対象：どなたでも (小学生以下は親同伴必須) / 定員：各回先着20人
 料金：大人1,000円、小学生500円、未就学児無料 (保険代含む)
 ◆問合せ・申込み：0438-75-7414、itoda@shinko-ji.jp

ワイルド釣りキャンプ in 花見川 主催：千葉自然学校
 誰でも楽しめる釣り体験。日帰りプログラム。
 開催日：6月20日(土) 対象：小学生、中学生
 定員：20名 / 料金：6,500円(CNSクラブ会員)、9,500円(一般)
 集合解散場所：JR新検見川駅
 ◆問合せ・申込み：043-202-7173、camp@chiba-ns.net

草取り&ホタル観賞(宿泊) 主催：上総自然学校
 里山に囲まれた田んぼで草取り。夜はホタルを見に行きます。
 開催日：6月20日(土)~21日(日) 1泊2日
 雨天中止 (小雨天決行の場合あり) / 〆切6/14(日)
 対象：小学生以上 (小学生親同伴必須) / 定員：20人 (先着順)
 料金：大人6,000円、小学生3,000円 (保険代、2食含む)
 ◆問合せ・申込み：0438-75-7414、itoda@shinko-ji.jp

溪谷の廃校キャンプ ホタル探し&そば打ち 主催：千葉自然学校
 昼はほたるの棲む清流を歩き、夜は天然のイルミネーションを楽しみましょう。蕎麦打ち体験も実施します。
 開催日：6月20日(土)~21日(日) / 場所：大多喜町 旧老川小学校
 料金：大人12,000円、子ども8,000円 / 定員：親子40名
 ◆問合せ・申込み：043-202-7173、camp@chiba-ns.net

ホタル観賞 主催：上総自然学校
 里山に生息するホタルを観賞し、生体を学びます。
 開催日：7月5日(日) 18:30~20:00 / 雨天中止 / 〆切6/28(日)
 対象：どなたでも (小学生以下は親同伴必須) / 定員：20人 (先着順)
 料金：1,000円 (保険代含む)
 ◆問合せ・申込み：0438-75-7414、itoda@shinko-ji.jp

つりたべ 初めてのキスはチョイ投げ 主催：ELFIN 体験共育くらぶ
 ビギナー向けの釣り体験。ターゲットはシロギス。扱いやすい短めの竿とリールを使ったチョイ投げに挑戦します。昼食付き。
 ①初めてのキスはチョイ投げ de 三浦
 ②初めてのキスはチョイ投げ de 尾籠
 開催日：①6月27日(土)、②6月28日(日) / 対象：①②18歳以上 / 定員：各8人
 料金：①会員6,500円、ピシター7,300円 / ②会員5,800円、ピシター6,600円
 ◆問合せ・申込み：TEL0470-55-8322、toi-awase@elfin-ee.com

7月のイベント

大房岬海辺のアドベンチャー 主催：千葉自然学校
 開催日：7月4日(土)~5日(日) / 対象：小学3~6年生、中学1~3年生
 定員：18名 / 料金：14,900円 / 集合解散場所：千葉駅、現地(大房岬)
 会場：大房岬少年自然の家 (南房総市)
 ◆問合せ・申込み：南房総市大房岬少年自然の家
 0470-33-4561、event@chiba-ns.net

七夕まつり 主催：君津亀山少年自然の家
 七夕にちなんだ手作りクラフトブース、食関係のブースなど親子で楽しめるお祭り。申し込み不要。
 開催日：7月5日(日) 10:00~15:00 / 対象：どなたでも
 料金：入場料無料、体験は別途有料 / 会場：君津亀山少年自然の家 (君津市)
 ◆問合せ：0439-39-2628、info@kimikame.net

ワイルド釣りキャンプ 主催：千葉自然学校
 開催日：7月11日(土)~12日(日) / 定員：20名
 対象：小学1~6年生、中学1~3年生
 料金：14,900円 / 集合解散場所：JR船橋駅、JR千葉駅、JR君津駅
 会場：亀山湖、君津亀山少年自然の家 (君津市)
 ◆問合せ・申込み：043-202-7173、camp@chiba-ns.net

ボランティア募集

千葉自然学校 ボランティアスタッフ募集
 主に子どもたち対象のキャンプをお手伝いいただける方を募集しています。興味をお持ちの方は、ぜひご連絡ください!
 ◆問合せ：043-202-7173、camp@chiba-ns.net

大房岬自然公園 自然保護ボランティア募集

ちょっとボランティアしませんか? H26に森林セラピー基地の認定を受けた大房岬自然公園。来園される皆がかわる自然公園を目指しています。気持ちいい汗を流しましょう!
 <4~7月の活動スケジュール>
 ・4/6(月) 園路の掃き掃除とお花見会
 ・4/20(月) ヤブツバキの葉刈りと手入れ
 ・5/11(月) フクソウの手入れと草取り
 ・5/25(月) 海辺のゴミ拾いとビーチコーミング
 ・6/8(月) スイセン刈り込も→海の見える展望台へ!
 ・6/22(月) ドクダミ刈りとドクダミの活用
 ・7/6(月) アカテガニ親水広場と不動滝の整備
 活動時間：9:30~15:30 (途中参加、一部参加もOK)
 対象：自然公園、自然保護、ボランティア活動に興味のある方どなたでも
 料金：無料 / 会場：国定公園大房岬自然公園 (南房総市)
 ◆問合せ・申込み：0470-33-4551、park_taibusa@chiba-ns.net

通年体験プログラム

陶芸体験 (絵付け、手びねり、電動ロクロ) 鴨川陶芸館
 鴨川市の郊外、自然豊かな里山に立地し、大山千枚田の棚田もすぐ近く、広々とした工房でゆったりと楽しんで頂ける癒しのスポットです。絵付け、手びねり、電動ロクロのプログラムから自由に選んで頂けます。
 開催時間：通年 9:00~17:00 (最終受付時間 15:30)
 料金：絵付け 1,800円、手びねり 2,600円、電動ロクロ 3,800円
 対象：幼児~一般 (電動ロクロは小4~) / 会場：鴨川陶芸館 (鴨川市)
 ◆問合せ・申込み：04-7098-0012

なるきた村「村民」募集 さんむ・アクションミュージアム

(H27 山武市市民提案型交流のまちづくり推進事業補助金対象事業)
 なるきた村は、JR成東駅北口の緑地公園化を進める村です。たんぼは、水田機能維持の耕作を。非農地はイベント会場や市民農園。土水路にメダカが、生物多様性維持。全体は、緑地公園に。成果物は『なるきたブランド品』に。
 草刈・土作業・ビート・園芸・農作業・自然観察・アイデア・デザイン・重機材・・・得意な分野で、ご協力ください。
 料金：村民税(参加費)は別途定める
 *村民税・ふるさと納税(入村はしないが資金提供いただける方)を収めていただいた方には、成果物(野菜、米等の農作物)を応分に分配します。
 *基本ラインは策定済み。具体的な内容は、村民会議で煮詰めて進めます。
 ◆問合せ・申込み：村長 さんむアクションミュージアム代表 木下敏三
 090-2723-1511、kk1925kk@gmail.com

ただ今準備中!年間シリーズ

「のら仕事に行こう!」「べちび★自然教室」
 「のら仕事に行こう!」...日帰り/佐倉市
 佐倉市にある農園で、1年間野菜作りを行います。昼食は農園で採れたて野菜をクッキング。畑を耕し、種をまき、心をこめて育てた野菜をいただきます。5月スタート、月1回開催予定。
 「べちび★自然教室」...日帰り/都市部公園
 都市部の公園で、乳幼児の親子を対象にした自然体験イベントを開催します。こちらも5月スタート、月1回開催予定。
 ★詳細は、千葉自然学校ホームページにて告知させていただきます。

●ろくすけ日和『ろくすけの花ごよみ』

千葉自然学校では、築180年の古民家を管理しています。南房総市平久里という地域にあり、周りは里山。まるで昔話のような場所です。この家には屋号という昔からの愛称があり、皆から親しみを込めて「ろくすけ」と呼ばれています。シニア自然大学やヤックス自然学校のキャンプリーダーの力を借りて少しずつ整備を進めながら、子ども・大人のキャンプで活躍中です。時々テレビにも出ています！

心では最低気温が氷点下になるなど、この冬は一段と寒さが厳しかったですね。みなさんの地域はいかがでしたか？ろくすけでも朝晩はぐっと気温が下がり、朝には池に氷が張るのが日常になっていました。

そんな寒さも厳しい中ですが、ろくすけの周辺の生き物たちはたくましく生長しています。その中でも美しい、かわいらしい姿を見せてくれる「花」。南房総では県の花として菜の花が有名ですが、今回はろくすけに咲き誇る花々を紹介しようと思います。

まずは12月ごろからは見ごろを迎えている「スイセン」。花期が長く、3月に入ってもその白い姿を楽しませてくれています。見た目の美しさもそうですが心地よい芳香で、特に夜の暗闇の中だと嗅覚が敏感になるのか一段と深い香りを楽しめます。

木々を見てみると、赤や白のウメの花が咲き、その隣ではきらびやかな桃色が目立つツバキの花も咲いています。対照的な2種ですが、早春の花としてろくすけの庭に色を添えてくれています。またその花が咲くのを楽しみにしていたかのようにメジロやヒヨドリ、ジョウビタキなどの野鳥達が蜜を吸いに訪れます。

そして足元にも控えめですが、咲き始めている花もあります。その姿がまるで笠をかぶった踊り子のように見えることから名前がついた「ヒメオドリコソウ」、同じく仏様が座る蓮座に似ていることから名前がついた「ホトケノザ」など。花は名前の由来を調べてみるのも面白いですね。

少しずつですが、ろくすけにも着実に春が近づいているようです。これからは庭のサクラが咲き、タンポポやフキなど野草の花も顔を出し始めます。それに伴いより多くの野鳥や虫、はたまた哺乳類など…賑やかなろくすけになりそうな予感です。色々な花を愛でられる「ろくすけ」。この春は桜や様々な花でお花見はいかがですか？
(かやぶき屋根の古民家ろくすけ住人 山崎大地/だいすけ)



●千葉シニア自然大学

「3年目が無事終了、そして4年目へ」

あっという間に1年が過ぎ、まさに今、本科・専攻科・研究科とも最後の仕上げの時を迎えている。また一方で、平成27年度の新年度を前に4期生はじめ各科受講生の募集やそれらの開講準備にてんてこ舞いの真っ最中である。

3年目の受講生の感想を伺ってみると、「自然に対する見方が変わった」「幅広い知識を習得でき大変良かった」「素晴らしい仲間を得られたことは、何ものにも代えがたい」等々概して良好な評価であった。運営事務局としては大変うれしい思いのひと時である。

ところが新年度の募集に関しては、これまでで最も苦勞した。姉妹校である大阪や名古屋、神奈川、埼玉など伺ってみるとみな同様の感想である。何かが変わったのかもしれない。一つは定年延長である。60歳から今やほとんどの会社が65歳まで働けるような制度になった。受講生の平均年齢は1期生・2期生がほぼ65歳だったのに比べ、3期生は67歳に近いというのはその現れであろう。今年度は、入学後に再就職が決まり、講座を欠席される方もいた。

もう一つ、やはり経済的な理由もあると思われる。今やアベノミクスの効果か、社会では何年ぶりの賃上げとか、人手不足とか景気上昇の気配も聞かれるなかで、年金減額だとか消費税の引き上げだとか、シニアの方々にとってはなんとも先行き不安を感じざるを得ない状況があるのではないと思われる。一度シニア自然大学に申し込んでも、公的な講座への参加が決まるとキャンセルしてそちらへ行かれる方がいる、或いはこれまでに比べ半期払いが多いというのも支出や投資に慎重になっておられるからではないか。

いずれにしても、来年度は社会情勢を捉えつつ、募集についてももうひと工夫する必要があるようだ。

(小谷賢彦/ダニー)



みんなのおおきな食卓

～遠藤さんの郷土料理のお話～

餅、ぼた餅、太巻きずし、小豆飯に白飯 行事食には‘米’がまず主役です。

それもそのはず、遠く稲作が始まった弥生時代からの「飯を腹いっぱい食べたい」の念願がかなったのは、昭和30年代前半のこと。不作、凶作に備えて米をいかに上手に食べるか 今に伝わる郷土料理には様々な工夫がうかがえます。

小裂け米を利用した性学もちは大原幽学が香取の農民に伝えた技術、鴨川には日照り続きで稔りの悪い小米を粉にして利用した風土餅が伝えられています。



松田料理長のおすすめレシピ～旬のお魚編～

○鯛の昆布締め

- ・鯛を三枚におろして、上身にして背と腹の節に切り分ける
- ・両面に塩をしてペーパータオルに包み、冷蔵庫で7～8時間ねかせて身を締める
- ・節の大きさに合わせて切った昆布を冷蔵庫にねかせていた身に巻いてしっかりラップに包み、冷蔵庫に一昼夜おいて身を締めてから皮を引いたら（剥いたら）出来上がり

○鯛の潮汁

- ・鯛の頭を梨割にして、頭の大きさにより5～6切れに切り分けて表面が少し白くなる程度に塩を振り3～4時間冷蔵庫でやすませる
- ・沸騰した湯の中にあらを入れて素早く霜降りをして、冷水で冷やし流水で細かい鱗を指で洗い流す
- ・鍋に水を入れて昆布一切れと先ほどのあらと酒少量を加えて加熱して、沸いてきたらアクと昆布を取り除いて、薄口醤油1～2滴・酒少量・塩を加えて味を調べて出来上がり（豆腐・焼き葱・木の芽を加えるとより一層おいしくなります）

○浅利のワイン蒸し

- ・浅利の砂をはかして水洗いして、鍋に白ワインを入れて火にかけて、アルコールを飛ばしたものに浅利を入れて鍋を少しゆすったりしながら、浅利の殻が空く程度に火を入れる
- ・浅利をザルに取り出して、ペーパータオルで蒸し汁をこして綺麗にして鍋に戻してバター・薄口醤油を入れて浅利を戻して汁を絡まして皿に盛り付けアサツキを散らして出来上がり

○鮎魚女木の芽焼き

- ・鮎魚女を三枚におろして、鱧のように骨切りをして皮を表にして串を尾のほうから若干扇状に打ち、表に軽く焼き色がついたら皮目を焼いてからタレを付けて焼く（酒2・濃口醤油1・味醂1）
- ・焼きあがったら、串を抜いて食べやすい大きさに切ったら並べて粉山椒と叩き木の芽を振って出来上がり

○鮎魚女葛叩き

- ・鮎魚女を三枚におろして、小骨を抜いて皮を下にして2回皮を残して包丁を入れて3回目で皮を切り、まな板に並べて塩と葛粉を打って、鍋に水を入れて沸騰したら火を弱めて切り身をそっと入れて、葛に透明感が出たら取り出して冷水に入れる
- ・出汁を温めて、薄口醤油・塩で味を調べて身を静かにに入れて出来上がり（沸騰すると身が壊れます）

会員校紹介 平成 27 年 3 月現在

●団体会員 (43 団体)

NPO 法人大山千枚田保存会、岩井民宿組合、ヤックス自然学校、鴨川陶芸館 (株)ちば南房総、千倉オレンジセンター、NPO 法人たてやま・海辺の鑑定団「わたしの田舎」谷当工房、NPO 法人佐倉みどりネット、森林塾かずさの森 (有)みねおかいきいき館、(一財)千葉県観光公社、上総自然学校 NPO 法人安房文化遺産フォーラム、シークロップダイビングスクール 夢の花かん、NPO 法人鴨川自然学校、(株)かずさアカデミアパーク 食と農の体験工房「よもぎ館」、千倉民宿組合、千葉県酪農のさと、ぬく森くらぶ 自然の宿「くすの木」、リゾートイン白浜、Live Stock (ライブストック) グランビュー岩井、さんむアクションミュージアム、市津・ちはら台自然楽校 NPO 法人里山会 (勝浦エンゼルアドベンチャーランド)、Sunset Breeze Hota 千葉伝統郷土料理研究会、ひらつか地域活性化協議会、ピーちゃんクラブ NPO 法人ちば里山センター、たのくろ里の村、森の時計・自然工夫塾 さんむ里の子自然塾 (あいよ農場)、ELFIN 体験共有くらぶ NPO 法人千葉・草原のこころファーム、森のようちえんはっぴー 環南みんなの楽校、(一財)千葉県環境財団、(一社)運動の和

●賛助会員 (7 団体)

館山日東バス株式会社、(財)ちば国際コンベンションビューロー 株式会社富楽里とみやま、株式会社 HMC 東京 旅行事業部 (社)アーバンネイチャーマネジメントサービス (谷津干潟自然観察センター) スコープジャパン株式会社、林造園土木株式会社

指定管理施設

現在、県内にある3ヶ所の施設を指定管理者として管理・運営しています。

- ・南房総市大房岬少年自然の家
(千葉県の施設として平成 17 年 9 月～平成 20 年 3 月)
(南房総市の施設として平成 20 年 4 月～)
- ・千葉県立大房岬自然公園 (平成 18 年 4 月～)
- ・千葉県立君津亀山少年自然の家 (平成 20 年 4 月～)



大房岬自然公園



大房岬少年自然の家

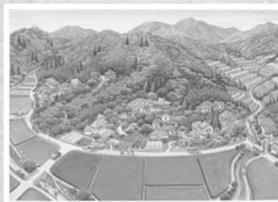


君津亀山少年自然の家

千葉自然学校のミッション

体験活動を通じ

- ・だれもが人生を豊かに生き、支え合う力を育む
- ・地域の資源を保全・活用し、次代に引き継ぐ
- ・ネットワークを充実し、地域の活性化をめざす



千葉県内における自然体験活動団体をつなぐネットワーク型の自然学校として、平成 15 年より活動を行っています。自然体験を通して、千葉県の里山・里海の保全と地域の活性化を目指しています。また、ネットワーク会員との連携を強化し、県内全域で幅広い世代を対象とした自然体験活動を実施しています。

千葉事務所のスタッフが

毎回一言つぶやきます。

お見逃しなく!

- 毎年のことながら 4 月は、満開の桜と共に新入生や新社会人など新しい世界へ巣立つ人たちが街に溢れ、世の中全体が晴れやかな気持ちになります。千葉自然学校のみんなが、晴れやかに元気に過ごせるよう願っています。 オーシャン
- わが家の春の始まりは福寿草から。ついで、白木蓮、雪柳、ラッパ水仙にムスカリ・・・手入れをされない庭は花たちのおもいのまま。 サニー
- 春・・・頭痛、微熱、鼻水、くしゃみ、気怠さが、健康な私の身体に襲いかかる季節。春眠に入ります。 ボクサー
- グリーンシーズン到来！桜、うぐいす、新緑、こいのぼり～！ たこはち
- 通勤路に咲きほころぶ梅の花。北にも、南にも、日本にも、世界にも 春よ来い。 アリ
- 新年度、気分新たに元気に活動します。足踏みではなく、前進あるのみ。 のりべん
- 早くも 3 月、年度末の締め、「決算」見込みについても話題の中心に。大抵の「仕事は準備が 8 割」・・・決算準備をスムーズに進められるように・・・と願うこの頃。 モリリン
- 新しい年度が始まりました。楽しく健康な毎日になるよう頑張ります。 らうす
- 今この時が残りの人生で一番若い！そう思ったら一日一日を大事にしなければ・・・と思っ
- てはいるのですが？？時は容赦なく過ぎていきます、もう春です。 バグママ
- 厳しい寒さもこのところようやく緩んできたようだ。そろそろ「じゃがいも」を植えなければ。 ダニー
- 親子離れ、それぞれの環境で新たなスタート。夢の両立頑張ろう！ けろっぴ
- 千葉事務所に戻り 3 年目に突入。今年度の目標は、足跡をしっかりと残しながら進むこと。 かつを

《編集後記》

年度末、担当した 1 年半の中で最も慌ただしく記憶に残る vol.7 編集作業となりました。次号から編集担当を〇〇さんにバトンタッチします！皆さま、お楽しみに♪ (佐藤玲子/かつを)



千葉自然学校の facebook ページでも活動紹介等の情報を掲載しています。ぜひご覧ください！

発行： **NPO法人 千葉自然学校**

千葉自然学校ニュースレター (年 4 回発行)

■ 千葉事務所 〒260-0015 千葉市中央区富士見 2-3-1 塚本大千葉ビル 7 階

電話：043-227-7103/FAX：043-202-7237

■ 安房事務所 〒299-2404 南房総市富浦町多田良 1212-23 大房岬少年自然の家内

電話・FAX：0470-33-2693

